

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年10月26日

【評価実施概要】

事業所番号	3871100404		
法人名	医療法人 慈孝会		
事業所名	グループホームこうの		
所在地	松山市河野別府179番地1		(電話) 089-993-2900
管理者	前野 悦子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年8月27日	評価確定日	平成20年10月26日

【情報提供票より】 (平成20年8月15日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成16年10月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	9人	常勤	4人, 非常勤 10人, 常勤換算 6.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	33,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	350円	昼食 350円
	夕食	400円	おやつ 円
	または1日当たり 円		
(3)利用者の概要 (平成20年8月15日現在)			
利用者人数	9名	男性 2名	女性 7名
要介護1	4名	要介護2	2名
要介護3	1名	要介護4	1名
要介護5	1名	要支援2	0名
年齢	平均 88.2歳	最低 80歳	最高 97歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

併設施設全体で「地域社会への貢献」を理念に掲げ、地域との交流を通して、事業所を理解してもらえ関係作りに取り組みされている。
 ご家族、ご本人の希望や意向をアセスメントシートに書き込み、全職員で共有されている。「24時間生活変化シート」で利用者の行動の原因を探る努力をされている。職員は、ご本人の表情等も見ながら、言葉や場面等も工夫しながら思いの把握に努めておられる。
 職員、利用者とも地元の人が多いため、併設のデイサービスの利用者や職員の中にも顔見知りの方が多い。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・前回の評価を受けて、家族会で食事会を行い、ご家族の参加も多く、利用者の方も喜ばれた。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・自己評価は、職員全員が個々に取り組み、管理者がまとめられた。職員は、「日々のケアを振り返り、初心に返ることができた」と話しておられた。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・7月は、小規模多機能と合同で会議を行われた。利用者の方々の感想を発表されたり、近況報告を行っておられる。市社協の方からは、防災についてアドバイスをいただき、意見交換をされた。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・家族会で食事会を行い、ご家族同士で親睦を深められた。又、ご家族だけで話し合いも行っておられる。「皆で小旅行ができるのではないか」という提案もいただいている。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・中学生の職場体験、大学生のボランティア等を受け入れておられる。地域の「公民館祭」では、お寿司や手作りの小物等、利用者と一緒に出店された。ご近所の方が花壇にお花を植えて下さることもある。所長は、小学校の依頼を受け、お年寄りについてのお話をされている。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム こうの

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

前野 悦子

評価完了日

平成20年8月15日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			理念を具体化し、行動指針を作成し、目につくところに貼っている。		
			(外部評価)		
			併設施設全体で「地域社会への貢献」を理念に掲げ、地域との交流を通して、事業所を理解してもらえる関係作りに取り組まれている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			行動指針ケアプランをもとに、個別の月間目標を決め、意識してケアにあたるよう、日々取り組んでいる職員の採用時には必ず、理念を伝え理解してもらえるようにしている。		
			(外部評価)		
			理念に基づき、今年は「寄り添って話しを聞く時間を作る」ことを目標に掲げ、ミーティング等で話し合っておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			ご家族には訪問時や家族会等に伝えている。また、理念を掲示版に貼り、地域との茶話会やホーム見学の時に、説明している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩や買い物に出掛け、近隣の人たちとあいさつを交わしたり、話をしたりしている。また、畑の作物の差し入れを頂くこともある。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の夏祭りや、地区の小学生、幼稚園との交流がある。 (外部評価) 中学生の職場体験、大学生のボランティア等を受け入れておられる。地域の「公民館祭」では、お寿司や手作りの小物等、利用者と協力して出店された。ご近所の方が花壇にお花を植えて下さることもある。所長は、小学校の依頼を受け、お年寄りについてのお話をされている。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 健康教室の開催等、地域住民を対象に認知症の理解や接し方の勉強会を行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価を活かして、具体的な計画をたて、改善に取り組んでいる。 (外部評価) 自己評価は、職員全員が個々に取り組み、管理者がまとめられた。職員は、「日々のケアを振り返り、初心に返ることができた」と話しておられた。前回の評価を受けて、家族会で食事会を行い、ご家族の参加も多く、利用者の方も喜ばれた。		自己評価を作成する際の事業所の気づきは、質向上への取り組みの最大の起点になる。サービス評価のしくみを活かし、今後さらに取り組んでいくことについて、考える機会とされてはどうか。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)		
			<p>小規模多機能居宅介護の職員や利用者、家族、また新しい役員の方も加わり、質問意見を受けて検討している。</p>		
			(外部評価)		
			<p>7月は、小規模多機能と合同で会議を行われた。利用者の日々の感想を公表されたり、近況報告を行ってられる。市社協の方からは、防災についてアドバイスをいただき、意見交換をされた。</p>		<p>市社協の方からの助言もあり、今後、会議では、テーマを決めて話し合いを進めるよう、取り組んでいきたいと話されていた。</p>
9	6	<p>市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>北条地区の松山市地域密着型サービス連絡会議に出席し他施設との情報交換を行い、ケアの質の向上に努めている。 センター方式によるケアプランの作成の講義には職員が出席した。</p>		
			(外部評価)		
			<p>地区のサービス連絡会議には、管理者が出席し、他施設と悩み事や困った事等について情報交換を行ってられる。</p>		
10		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	(自己評価)		
			<p>勉強会を開き理解を深めている。また社協等が主催する成年後見制度の研修に参加している。必要があれば希望に添えるよう準備している。</p>		
11		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	(自己評価)		
			<p>虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。 身体拘束の委員会で毎月検討している。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には、事業所のケアに関する考え方や、取り組み、退去、重度化や看取りについての対応、医療連携体制の実際などについて詳しく説明し同意を得ている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情がある場合は、運営推進会議や業務改善委員会等で検討している。利用者の意見や要望を聞く機会を設けそれらを運営に反映させている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会時には暮らしぶりや健康状態について報告しているが、2ヶ月1回程度、遠方の親族にもハガキや手紙で報告している。 3ヶ月に1回「この瓦版」を発行し郵送している。 金銭管理は出納帳に記入し、家族にサインをいただいている。 職員の異動は家族会にて報告、紹介している。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 玄関に意見箱を設置したり、ご家族には訪問時、家族会等で常に問いかけ、何でも言ってもらえるような雰囲気づくりに留意している。苦情、不満がある場合、毎月の業務改善委員会や、運営推進会議で検討する仕組みを取っている。		
			(外部評価) 家族会で食事会を行い、ご家族同士で親睦を深められた。又、ご家族だけで話し合いも行っておられる。「皆で小旅行ができるのではないか」という提案もいただいている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回の業務改善委員会を持ち業務や運営に関する意見交換や検討会を行っている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の自由な暮らしをできる限り支えられるようまた要望に答えられるよう職員の配置を考えている。またスタッフの協力を得て外出・行事・外来受診の同行などを実施している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の休職時、伝達簿に細かく記入したり、新人職員には早く把握してもらえよう、個人の対応マニュアルを作成している。		
			(外部評価) 現在、離職はほとんどない。事業所では、「個別ケア」を大切にされており、利用者の思い等も職員で共有して、離職があった場合にも、ご本人のダメージが抑えられるよう取り組まれている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 月1回の勉強会を開いている。また、外部の研修の際は伝達講習を行っている。 年間1回以上の外部での研修をパートの職員にも受けてもらっている。		
			(外部評価) 法人全体で研修の年間計画を立てておられ、月1回の勉強会では、最近はお浴介助について話し合われた。外部研修も積極的に参加することをすすめておられ、研修で得た内容を発表し、皆で共有できるようにされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			松山市北条地区密着サービス連絡協議会に参加してサービスの質を向上に取り組んでいる。 また、相互研修に参加しサービスの質の向上に取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			法人内の職員が交流ルームで、介護教室を年4回開催されている。利用者、職員、地域の方にも案内しておられる。県GH協議会の相互評価を実施しておられる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			お花見や忘年会適時食事を設けたり個人の悩みを聞く機会を設けている。年2回、職場の人間関係や環境作り等についてセンター長との面接を行い、意見交換を行っている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			センター長が、週3回訪問し管理者より勤務状態の把握に努め、必要があれば適時職員の面談を行っている。		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			本人の思いや、不安を受け止め、安心してもらえるよう生活状態を把握するよう努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 御家族が求めるものを理解して受け止める努力をしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時本人やご家族の思い状況等を確認し訪問歯科等の必要なサービスにつなげるようにしている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) やむを得ずすぐに開始になる方が殆どであるためご家族やそれまで関わっていた関係者に来てもらうなどして安心感を持ってもらえるようにしている。 (外部評価) 入居前にはご本人を訪ね、関係を作れるよう取り組まれている。職員、利用者とも地元の人が多いため、併設のデイサービスの利用者や職員の中にも顔見知りの方が多。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 本人の思いを知り受け止めながら、調理、洗濯、畑作り等で生活の知恵を教えてもらう等場面作りや声掛けを行っている。 また利用者の亡き配偶者のお位牌に手を合わせお盆や、命日にはおりょうぐ膳を供えている。 (外部評価) 職員は、利用者から料理の味付けや作り方を教えてもらうことが多い。利用者が職員のエプロンを直してくれたり、ねぎらいの言葉をかけてくださることもある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者と一緒に過ごす時間を多く持ち、喜怒哀楽を共感出来るよう声掛け、雰囲気作りに努めている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 外出や外泊家族と一緒に過ごすことを勧めたり、行事に家族を誘ったりして、より良い関係の継続に努めている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 昔なじみの美容室へ行ったり、家族と一緒に墓参りしたりとつながりが継続するよう手紙や電話で連絡とるように努めている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 心身の状態や気分、感情で変化することもあるが、利用者同士の関係がうまくいく様に多くの会話が持てるよう、職員が介入したりと工夫している。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 今年は退所された方はいないが、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には関係を断ち切らない付き合いを大切にしようと思っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1.一人ひとりの把握</p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価) 本人のこれまでの暮らし方本人の思いをいろいろな角度より把握することに努めている。御家族との話で、どんな環境がベストか好きな事嫌なことまた本人との会話の中で確認している。</p> <p>(外部評価) ご家族、ご本人の希望や意向をアセスメントシートに書き込み、全職員で共有されている。「24時間生活変化シート」で利用者の行動の原因を探る努力をされている。職員は、ご本人の表情等も見ながら、言葉や場面等も工夫しながら思いの把握に努めておられる。</p>		
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価) これまでの馴染みの暮らしを支えられるよう、仏壇、家具、鉢植え等を持ち込んでもらっている。入所前のサービス利用は、ケアマネ等から情報を得て把握している。</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価) 一人一人の体調や気持ちを大切に、本人が満足できるように努めている。</p>		
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 御家族の意見やアイデア、スタッフの意見、本人の意見を反映して介護計画を作成している。</p> <p>(外部評価) ご本人やご家族と話し合い、利用者の思いを大切にしながら介護計画を作成しておられる。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			職員が利用者や家族の要望を取り入れ、介護計画を作成し、定期的に職員同士で検討見直しし、状態の変化した場合も検討、見直しを行っている。		
			(外部評価)		
			介護計画は3カ月毎の見直しとされている。退院時等、状態に変化があったような場合には、随時見直しされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個別のファイルに日々の暮らしの様子や言葉等記録している。必要事項はノートを使用し、全員がチェックして目を通し確認出来るようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			医療連携体制を生かして、その利用者にとって負担となる受診や入院の回避、早期退院の支援を行なっている。		
			(外部評価)		
			事業所では、ご家族の都合に合わせて、病院受診、美容院の利用時にも同行されている。併設デイサービスで手芸作品等を作ることに参加されたり、ご本人の希望で故郷を訪ねたり、ご自宅の様子を見に帰ることも支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 近隣住民や支所、保育園、小中学校へ「かわら版」を配布したり、行事案内を出して常に働きかけている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 希望があれば他のサービスを利用するための支援を行っている。 歯科訪問診療に来てもらったこともある。 また今回マッサージ治療を希望している方の、支援をする予定である。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議の包括支援センター主催の松山市北条地区密着サービス連絡会議に参加し、周辺情報や支援に関する情報交換、協力関係を築いている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人や家族が希望するかかりつけ医としている。 受診や通院については本人や、家族の希望に応じて対応しており、職員が同行することが多い。 母体病院の医師の往診が週に1回あり、相談に応じてもらっている。 (外部評価) 訪問歯科を利用できるようになっている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力医療機関を通じて、認知症専門医の診断や治療を受けられるよう支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職員を配置しており、常に利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行えるようにしている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には介護要約を作成し利用者が安心して治療に専念できるように努めている。また、頻回に面会して病院関係者から情報を収集し、本人家族の希望に考慮しながら早期退院できるように、検討している。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化した時、御家族、医師と相談し全員で方針を共有する体制が出来ている。 (外部評価) 「ターミナルケアマニュアル」を事業所で作成し、入居時、ご本人、ご家族に説明されている。		重度化や終末期に向けた方針の共有、又、支援についての勉強会を行いたいと考えておられる。利用者の高齢化のこともあり、終末期の支援についてご本人、ご家族の意向を探るような機会を作ってはどうか。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 看取りの指針を作成し、希望に備える準備をしている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 転所先には、介護要約を作成し、情報交換を行い、これまでの暮らしの継続性が損なわれないよう、きめ細かい連携を心がけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			いかなる時も自尊心、プライバシーを損ねない対応をし経過記録の保存も気をつけている。また個人情報 は、施設外で話さないように声掛けをしている。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者のことをいろいろ知って、声かけや対応をされている。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			本人の意見を尊重し、思いや希望がかなえられるように支援している。満足の笑顔が見たいので努力している。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			利用者さん優先を心がけている。買い物や散歩等、1人ひとりの状態や思いに配慮し柔軟な対応に努力している。		
			(外部評価)		
			起床や朝食、入浴も利用者のペースを大切にできるよう支援されている。毎朝食は、ご飯、パンと選べるようになっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 御家族の協力もあり、出来ている。また本人の望む日、理容、美容店も行けている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者の意見を優先し、頂き物があった時メニューもすぐ変更出来、季節のものを一緒に下ごしらえしたりして、食べる楽しみを見つけている。 (外部評価) 事業所の畑で採れた野菜を使用し、食事作りをされている。食事時の座席は、利用者の意思を確認して決めておられる。職員は、男性利用者にご飯のお替りの声かけをされていた。職員も一緒に食べながら、利用者と会話も弾んでいる様子がうかがえた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 好みの飲み物をほしい時に飲んでもらう様心がけている。		現在喫煙希望の方はいないが、希望があれば家族、本人と話し合い安全に喫煙できるよう支援したい。 喫煙場所を決める。 ライター・たばこは預かるなど
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 夜間のポータブルトイレ使用や尿パットを使用しないで本人の希望を重視、排尿・排便パターンを把握し誘導をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			本人の希望を尊重し夜勤帯、日勤帯に毎日でも入れるようにしている。		
			(外部評価)		
			併設デイサービスの大浴場を、利用者同士が声を掛け合って一緒に楽しめることもある。夜間は、夕食後の比較的早い時間であれば入浴も可能となっており、入浴のお嫌いな利用者には、タイミングを見てすすめられる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			利用者の方の、入眠状況に合わせて支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			一人一人が出来る役割を考えて、縫い物、読書、野菜の下ごしらえ等してもらったり気分転換に外出、買い物、散歩等をしている。		
			(外部評価)		
			デイサービスで絵手紙作りや陶芸等をされたり、ペンキ塗りや畑の柵作り、裁縫やカラオケ等、利用者のできることや好きなことを楽しみながら行えるよう支援されている。利用者のお部屋に仏壇があり、職員は、ご本人とともに、ご家族の命日には御料具を供えておられる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			買い物と一緒にいってもらい、自分のほしいものを買ってもらったり、スタッフが買ってきてあげることもある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			本人の体調等も考慮し、希望を聞きながら短時間でも外出出来るように個別の支援を工夫している。		
			(外部評価)		
			日常的な散歩や神社へのお参り、スーパーへ買い物に出かけることもある。又、季節のお花見等にも出かけ、楽しまれている。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			年間行事計画を立てて、実現できるよう職員同士で話し合い、家族へも手紙などで呼びかけをし、職員の勤務を調整する等機会作りを行っている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			家族、本人が希望された携帯電話を使用できるように支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			訪問時間は特に定めておらず、いつでも訪ねて来ていただけるように、気軽に来やすい雰囲気作りを心掛けている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束はできる限り行っていないが、やむを得ない場合、家族に承諾を得てカンファレンスを適時行い、検討している。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中、外出しそうな様子があれば観察し、声掛け、ついて行く等の対応をしている。また利用者の傾向をつかんで、鍵はかけないで自由に出入りできるようにしている。 (外部評価) 玄関は施錠されていない。利用者の外出の折には、さりげなく一緒に出かけるようにされている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 常に見守り、確認しやすい位置で記録等の作業をしたり、職員同士で声掛けし合っている。また、さりげなく見守りで状況把握出来る様努めている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一律に取り去るのではなく、利用者の状況に応じながら、危険を取り除ける様、声掛け配慮している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故報告書やヒヤリハットは適時検討し、事故防止策を共有、徹底するよう努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 勉強会を持って、スタッフ全員が対応できるよう努力している。また応急手当のマニュアルを貼り、必要に応じて対応の勉強している。9月11日関連施設で、救急実技の講習を受ける予定である。		特に夜勤者の不安が大きいため、くり返し勉強してゆきたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年2回夜間想定避難訓練を実施している。 (外部評価) 年に2回、併設施設とともに消防署の協力のもと、合同訓練を行なっておられる。夜間を想定した訓練も行われた。		防災組織に加入したが、声かけがあれば、参加する予定である。 ガスの元栓の閉め忘れや、車イスを利用されている方の避難等、課題もさらに、明確にされ、取り組みにつなげられるよう、すすめておられる。今後も地域との協力体制をすすめていかれることが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 家族と伴に生活の質を大切にする方向で、対応策を話し合っている。 施設周囲を一人で散歩、庭に出るなど、気が付かない見守りを実施している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 普段の状況を職員は把握している。 食欲、顔色、様子等の変化が見られた時は、バイタルチェックを行い、変化時の記録をつけている。 状況により医療受診につなげている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬マニュアル、チェック表を作成し指示どうりの服薬ができるように支援している。又日常服用している薬の効果、目的、副作用が理解できるよう処方箋、文献で把握できるようにしている。臨時薬等が出た場合申し送りや伝達簿や、口答で確かめ合っている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食事、運動、水分量、便秘薬等で工夫している。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎回声を掛けて習慣づけて清潔の保持につとめている。義歯は、週1回洗浄剤につけている。残存歯があり磨き残しがある方に介助したり定期的に歯科受診を勧めている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 水分量、食事量もすべてわかるよう支援している。 (外部評価) 併設施設の栄養士の方が作った献立を参考に、職員が工夫して食事作りをされている。食後にコーヒーの時間を設けられたり、居間のカウンターには、いつでも飲めるようにお茶のピッチャーが用意されていた。夜間、居室でも水分補給できるようにされていた。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) マニュアルに添って、勉強会をして職員自身も注意し、流行時には、利用者も外出をひかえたり、食事の内容にも気をつけている。		<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ掃除、部屋のノブ ・リビングの家具(特に毎日利用するイス等) ・シルバーカー、車椅子のハンドルなど毎日(2回) ・次亜塩素酸ナトリウムで拭き掃除をしている

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価) 毎日ふきん、まな板の徹底消毒。 調理人の手洗いの励行 食材にも注意し定期的に冷蔵庫の掃除も行なっている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 玄関には、スロープをつけたり段差をなくしたり、入り口には、看板をつけ分かりやすく工夫している。また利用者の御家族の方が来てもらいやすい施設であるよう、花をかざったり植えたり職員も気持ちよく、応対出来ている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 心地よい音楽、柚子湯、菖蒲湯や畑には野菜、玄関の草花等で生活感や季節感を取り入れ居心地よく過ごせるように工夫している。</p> <p>(外部評価) 共有空間には観葉植物、季節の花、利用者の作品が飾られていた。畳のコーナーには、テレビ、ビデオ、利用者の持って来たカラオケテープもあった。調査訪問時、利用者がビデオを付けて、全員で体操・口腔体操をされている様子が見えた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 利用者の心身の状態の変化に合わせ気分転換や安全確保ため、ソファの配置、テーブルの配置を考えている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			使いなれた馴染みの物を置き、利用者が穏やかに過ごせる雰囲気作りに努めている。		
			(外部評価)		
			ご家族からのプレゼントのお花や、ご本人が作った粘土細工人形が飾られていた。各居室に洗面台が設置されていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			ホーム内は適時換気を行っており、室温についても利用者の状態、言葉等観察しながら、冷暖房等も利用して温度調節している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			利用者の状態に合わせて手すりや浴室、トイレ、廊下など居住環境が適しているかどうか見直し安全確保と自由への配慮をしている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			不安や混乱が起こらない様に、状況に合わせて職員同士で話し合ったり、利用者の不安を取り除ける様に工夫している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			庭に花を植えたり、畑には野菜を植えて収穫したり、またベンチを置いて利用者が好きな様にくつろげるような工夫をしている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ③利用者の1/3くらいの	まだまだ知らない部分があると思うが会話の中から聞いたり、言葉の中から聞こえたりする事を聞き入れできるだけ思いに副うよう努力している。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある	職員全員その姿勢があり短い時間でも1人づつからでもできるよう心がけ、気配りしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が	職員は、個々の利用者の希望を伺い努力している。テレビを観たいとき自分から居室へ、庭の手入れ、読書など自由に過ごしている。時間に縛られた生活でなく、各自に合わせた生活をしている。(食事時間、入浴時間、入浴回数など)
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが	裁縫、包丁さばき、大工仕事、俳句、歌、切花、塗り絵、陶芸など利用者が得意とすることを支援する事でいい表情が見られる。又外へ出た時生き生きとした表情になる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが	希望を聞き、計画を立てできる限り外出するようにしている。又安全に外出できるように職員・他事業所職員の協力もあり、実行できている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が	医師が週1回往診に来ている。利用者の健康管理は、毎日行い体調の変化に気をつけている。又外来受診に同行し直接医師より指示を仰ぐ事もある。安全面も予測する事で不安なく過ごしてもらっている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が	限られた条件ではあると思うが、内容を否定することなく受容し対応する努力をしている。ここに来てよかった。みんな親切、私は、この時代に生きててよかった。子供がいないからよけい思います。よろしゅう頼みます。・・・利用者の声
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ①ほぼ全ての家族と	面会・手紙・電話等で近況報告し信頼関係を築く努力をしている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように	デイサービス・小規模多機能施設と併設しており利用者同士の交流がある。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) ①大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	職員の家族、知人、利用者の家族等の応援者が増えた。また施設周辺で住民の方と行き交うとき好意的な挨拶と笑顔が返ってくる。
98 職員は、生き生きと働いている	(自己評価) ①ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	笑顔も多く行事等には、気持ちよく一緒に楽しみながら参加したり、意見も話し合っている。利用者の方が、穏やかに生活しているのは、職員が生き生きと働いているからかも知れない。
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	本人や家族に要望を聞いてできるだけ希望に副うよに、また意思の疎通の図れない方は、態度や表情で判断するよう努力している。集団生活の不自由さもあると思うが、閉じこもりの生活ではなく、毎日賑やかに暮らせていると思う。
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ②家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	本人には、希望や意見を聞いてできる限り支援している。面会時には、常にねぎらいの言葉がある。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・ 東に高縄山を仰ぎ西には瀬戸内の鹿島を望み自然に囲まれたのんびりと生活できる平屋作りのホームである。
 ・ 利用者も職員も地元の方が多い。
 ・ デイサービスと併設している為地域の方との交流や趣味活動、行事等も活発である。(俳句、絵手紙、陶芸、生花、ちぎり絵など)
 ・ デイサービスの大浴場で2～3人の方と一緒に入浴できる。(毎日入浴・個浴による夜間入浴0・K)
 ・ 食事前の口腔体操・ラジオ体操・タオル体操を実施している。
 ・ 利用者の要望・意見・不満等、職員全員で満足のいく方向へ日々努力し研磨しているとともに、受容のみでなく全ての面で個々の利用者に対して、自立、予防介護への前向きなミーティングを行なっている。